



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場会社名 福留ハム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 修治

問合せ先責任者 (役職名) 経理支援部長

(氏名) 明石 嘉典

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	23,128	△1.5	699	△18.6	671	△20.3	146	△66.1
22年3月期第3四半期	23,473	△7.1	858	60.5	842	61.3	431	70.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	8.72	—
22年3月期第3四半期	25.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
23年3月期第3四半期	19,090		4,515	23.6		270.28
22年3月期	17,667		4,523	25.6		266.79

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,514百万円 22年3月期 4,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	3.1	640	△25.2	590	△27.8	150	△56.3	8.82

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	17,000,000株	22年3月期	17,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	295,902株	22年3月期	47,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	16,803,671株	22年3月期3Q	16,954,898株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この、四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の企業業績に明るい兆しがみられるものの、雇用情勢の悪化や所得の減少等により、経済環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましては、食肉相場が上昇するなど一部で環境の改善も見られましたが、消費者の低価格志向等の影響もあり依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、コンプライアンスを重視した社員教育の実施及び経営理念の浸透も図ってまいりました。また、新組織として「研究開発カンパニー」を立ち上げ、新製品の開発に注力してまいりました。さらに、グループ全社のスキルアップを図る目的で、イノベーションへの取組みをスタートさせるとともに、引き続き生産革新に基づく「ローコスト・オペレーション」の推進を図り、コスト削減に努めてまいりました。

一方、販売に関しては、年末商戦に対し、加工食品事業においては、「ロマンティック街道」シリーズを中心に販売強化をしてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、引き続き生活防衛的な買い控え、低価格化傾向等消費の低迷の影響を受け、231億28百万円(前年同期比1.5%減)となりました。利益につきましては、営業利益は6億99百万円(前年同期比18.6%減)、経常利益は6億71百万円(前年同期比20.3%減)、四半期純利益は1億46百万円(前年同期比66.1%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、焼豚など新商品の貢献もありましたが、消費者の低価格志向や企業間競争の激化に伴う販売価格の下落もあり売上高は減少いたしました。

その結果、売上高は108億58百万円となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国内ビーフは重量では前年を上回ったものの価格の下落が影響し、売上高は前年より微減となりました。国内ポークは、重量においては前年を下回りましたが、国内相場の上昇により売上高は前年を上回ることができました。輸入ミートは好調に推移し、重量・売上高ともに前年を上回りました。

その結果、売上高は122億70百万円となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間から、セグメント区分に変更したため、各セグメントの対前年同四半期との金額比較は記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産等の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億23百万円増加の190億90百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億67百万円増加の94億55百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金16億77百万円及び原材料及び貯蔵品1億20百万円の増加と現金及び預金1億41百万円の減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少の96億35百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減価償却実施額等1億21百万円及び投資有価証券の評価替等1億65百万円の減少等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億31百万円の増加の145億74百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10億49百万円増加の109億52百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金10億52百万円の増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億81百万円増加の36億21百万円となりました。主な要因は、長期借入金2億34百万円及び退職給付引当金83百万円の増加等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少の45億15百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加61百万円及び自己株式の取得63百万円等によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計期間末に比べ1億41百万円減少の31億20百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億25百万円となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益4億65百万円、減価償却費3億33百万円、仕入債務の増加10億13百万円及び売上債権の増加16億77百万円、たな卸資産の増加2億8百万円、法人税等の支払額4億68百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、72百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出46百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、56百万円となりました。主な要因は、短期借入金の純減額80百万円、長期借入金の返済による支出3億69百万円、配当金の支払額84百万円、自己株式の取得による支出63百万円及び長期借入による収入7億円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では、わが国経済の景気の先行きは依然として不透明であり、当業界におきましても引き続き厳しい環境ながら、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は734千円、税金等調整前四半期純利益は16,391千円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は9,773千円であります。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用による表示方法の変更

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,290,244	3,432,209
受取手形及び売掛金	4,573,200	2,895,369
商品及び製品	962,052	868,915
仕掛品	55,990	61,618
原材料及び貯蔵品	488,469	367,683
繰延税金資産	57,001	128,362
その他	38,780	41,271
貸倒引当金	△10,549	△8,230
流動資産合計	9,455,191	7,787,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,631,883	2,714,210
土地	3,350,829	3,350,829
その他(純額)	809,220	847,980
有形固定資産合計	6,791,933	6,913,020
無形固定資産	23,709	25,092
投資その他の資産		
投資有価証券	1,503,653	1,668,696
繰延税金資産	993,304	973,253
その他	509,515	499,751
貸倒引当金	△186,880	△200,002
投資その他の資産合計	2,819,592	2,941,699
固定資産合計	9,635,235	9,879,812
資産合計	19,090,427	17,667,012

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,255,634	2,203,541
短期借入金	6,539,850	6,523,800
未払金	669,270	458,189
未払法人税等	90,801	287,772
賞与引当金	111,763	227,947
役員賞与引当金	—	17,800
その他	285,502	184,285
流動負債合計	10,952,821	9,903,336
固定負債		
長期借入金	1,382,500	1,147,850
退職給付引当金	1,758,985	1,675,468
役員退職慰労引当金	212,614	203,126
その他	267,757	213,411
固定負債合計	3,621,856	3,239,857
負債合計	14,574,678	13,143,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	333,393	271,698
自己株式	△73,725	△10,220
株主資本合計	4,454,975	4,456,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	59,786	66,047
評価・換算差額等合計	59,786	66,047
少数株主持分	986	985
純資産合計	4,515,748	4,523,819
負債純資産合計	19,090,427	17,667,012

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	23,473,475	23,128,862
売上原価	18,578,968	18,539,996
売上総利益	4,894,506	4,588,865
販売費及び一般管理費	4,035,884	3,889,668
営業利益	858,621	699,197
営業外収益		
受取利息及び配当金	18,957	20,869
不動産賃貸料	43,349	31,363
その他	27,358	17,794
営業外収益合計	89,665	70,026
営業外費用		
支払利息	104,398	97,113
その他	1,790	1,016
営業外費用合計	106,188	98,129
経常利益	842,097	671,094
特別利益		
固定資産売却益	—	190
特別利益合計	—	190
特別損失		
投資有価証券評価損	38,223	183,569
固定資産除却損	7,378	6,866
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,656
特別損失合計	45,602	206,092
税金等調整前四半期純利益	796,495	465,192
法人税、住民税及び事業税	342,008	283,754
法人税等調整額	22,866	34,979
法人税等合計	364,875	318,733
少数株主損益調整前四半期純利益	—	146,458
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	0
四半期純利益	431,621	146,458

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	796,495	465,192
減価償却費	319,763	333,601
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,587	9,487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△202	△10,803
受取利息及び受取配当金	△18,957	△20,869
支払利息	104,398	97,113
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45,155	83,516
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△190
固定資産除却損	7,378	6,866
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,656
投資有価証券評価損益(△は益)	38,223	183,569
売上債権の増減額(△は増加)	△1,458,459	△1,677,830
たな卸資産の増減額(△は増加)	194,932	△208,294
仕入債務の増減額(△は減少)	505,879	1,013,599
その他	26,358	128,548
小計	569,553	419,163
利息及び配当金の受取額	19,163	21,051
利息の支払額	△97,155	△97,223
法人税等の支払額	△337,394	△468,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,166	△125,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	40,000	—
有形固定資産の取得による支出	△297,874	△46,969
有形固定資産の売却による収入	—	567
投資有価証券の取得による支出	△50,818	△8,457
その他	△12,000	△17,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,693	△72,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	△80,000
長期借入れによる収入	400,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△378,600	△369,300
配当金の支払額	△67,827	△84,762
リース債務の返済による支出	△25,169	△46,239
自己株式の取得による支出	—	△63,505
その他	△688	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,285	56,193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△218,812	△141,965
現金及び現金同等物の期首残高	3,117,363	3,262,209
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,898,551	3,120,244

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社及び連結子会社の取扱う製品等を種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性に基づいて区分した結果、同一事業種類の売上高及び営業損益の金額がいずれも全セグメントの90%を越えているので、記載を省略いたしました。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、全て日本国内で行われているため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品別の事業部を置き、商品及び提供するサービスについて各事業部が包括的な戦略を立案し事業活動を展開しております。従って、当社グループは、事業部を基礎とした商品及び提供するサービス別セグメントから構成されており、「加工食品事業」及び「食肉事業」の2つを報告セグメントとしております。

「加工食品事業」は、主にハム・ソーセージ・加工食品の製造及び販売を主な事業としており、「食肉事業」は、主に食肉の生産及び販売を主な事業としております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,858,796	12,270,065	23,128,862
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	10,858,796	12,270,065	23,128,862
セグメント利益	684,771	360,251	1,045,023

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,045,023
全社費用(注)	△345,825
四半期連結損益計算書の営業利益	699,197

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。